



今 釈志津へ



ootsuru



まえがき

昨年亡くなった母に関する昨年の作品を纏めました。

毎朝twitterで送られてくる季語を使って毎朝俳句を作ることが5年目になりました。

その中の昨年の母に関するものを収録しました。

殆どが母の没後のものです。

★ブログ発表時にコメントを付けてますのでそのまま掲載します。

母に関する短歌も収録しました。

母の供養の為と思って纏めました天国でもう少しましな作品をと言っているかもしれません。

大津留公彦 2016年1月17日

2015年11月10日（火）

生涯のテーマは「子ども・愛・平和」小森香子 我が母と重なる
我が母より二年後に産まれたる小森香子目の前に喋る
我が母と同じ歳なる碓田のぼる 九つの歌会の「先生」であり
我が母と短歌の恩師の米寿祝う 母はこの場に居ないけれども
四十四年短歌の師なり その前に母という師あり共に米寿に
我が母の米寿の祝い出来得るか 数えではもう八十八歳
母よりも二歳下なる小森香子 戦争体験咳一つなし
我が母の戦争体験聞く如く小森香子の話に息飲む
小森親子酒を酌み交わすことあると 母とは酒を飲まずに米寿
我が母と同じ時代の話聞く一昨日は碓田・昨日は小森

2015年12月12日(土)

凍天のlineに痩せし母の貌

★入院して母の痩せた写真を妹がlineで送ってきてくれたが衝撃的だった。

画像は説得力がある。

正月に会いに行くのだが。

2015年12月14日(月)

墓囲ふこともあらずやビルの中

★父はビルの中に眠っている。スペースを空けて母の来るのを待っている。

2015年12月17日(木)

凍土踏みあっけなき母の葬儀へと

★通夜の夜は湯布院に泊まったが翌朝は凍土で初雪が降った。

2015年12月18日(金)

衾閉め読経の始まる三十畳

★少ない人数の葬儀に三十畳は広く感じた。

2015年12月19日(土)

御歳暮を贈り終えては母の茶毘

★母は12月15日に亡くなった。歳暮は送り賀状は出す直前だった。

全て処分し、年賀状の返信の寒中見舞いを準備した。

2015年12月22日(火)

慕われし母と知りたる冬至かな

★私の従兄弟たちが母の葬儀に来てくれたが母には世話になったと皆言ってくれた。

2015年12月23日(水)

冬霞母よ杖つき出でよかし

★長患いしなかった母は霞の中を杖ついて歩いて来そうである。

2015年12月24日(木)

埋火のようなる骨を拾いけり

★母の骨を拾った時に大きな鉄と思われる人工関節が腰の部分に入っていた。

2015年12月25日(金)

狭庭なる葬式明けの冬雲雀

★いつもは見ない雲雀が庭に来た。林檎を木に掛けていたからだろうか。

2015年12月26日(土)

冬休亡き母の歌集めむか

★母の歌は「コスモス」誌上にしか残っていない。どうしたもののか。

2015年12月27日(日)

背を丸め葛湯を吸うや母の夢

★柚子湯と母はよく似合う

2015年12月28日(月)

年用意リンとリン棒買って来ぬ

★線香立てるときに叩く鐘をリンといい叩く棒をリン棒という事を初めて知った。

2015年12月29日(火)

冬温しピアノの上に母笑ます

★ 母の遺影がピアノの上にあります。笑っています。

2016年01月13日(水)

福笑少しずらせば母の顔 公彦

★そう見えたが母は若い頃は美人と言われていた。

2016年01月17日(日)

月命日過ぎて寒波の到来す

★15日が母の最初の月命日だった。寒さが昨日あたりから急に深まってきた。

葬儀の時の私の挨拶文を掲げてあとがきとします。

本日は故母志津香の葬儀にお集まり頂きましてありがとうございます。母は一昨日12月15日午前11:17分アルメイダ病院にて心不全にて亡くなりました。

本日ご参集頂きました皆様のご厚情に感謝致します。特にグループホーム花の里の皆様には園の開始以来先に亡くなりました父共々言葉に表し難い程のお世話になり誠に有難うございました。

母と私は四十年位前にたまたま同時期に短歌を始めました。

一時期は同じ短歌会にも属していました。「産後三日の母」という親子歌集も出しました。

三年半前に亡くなった親父に親孝行だから短歌を止めるなど言われた事も頭に残っています。母に因む歌を纏めた歌集を作ろうと思っていましたが間に合わず残念です。今日お集まりの皆さんに出来次第お送りしたいと思います。

15日の夜、空港からの大分に向かう高速の中で作った歌です。

窓からの別府湾の綺麗さに涙流れて止まるを知らず

しいちゃんと言われて十五年ホームにてお世話になりて今釈志津に

本日は誠に有難うございました。

お母さん ありがとうございます。 以上です。